

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191100025		
法人名	株式会社 ゆうあい		
事業所名	グループホームゆうあい		
所在地	佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田2273-7		
自己評価作成日	平成27年2月26日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年3月10日	外部評価確定日	平成27年3月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

アットホーム的な雰囲気の中で笑顔のある日々を過ごして頂けるよう広大な芝生の庭園の散歩や動物と触れ合い、又畑には四季折々の花や野菜を植え野菜は旬の食材を使用し季節を感じて頂きながら美味しくバランスの摂れた食事を楽しんで頂いています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は吉野ヶ里町の中心街に程近いJR長崎線の沿線に位置し、広い敷地の中に、小規模多機能型事業所や認知症対応型通所事業所等と廊下続きに造られており、それぞれの機能を活かした連携が図られている。職員は、地域密着型サービスの役割を理解し、「①地域の人にとけ込もう ②地域の人と触れ合おう ③地域の人のためになろう」をスローガンに地域住民との繋がりを深め、住民からも多方面での協力が得られている。近隣者とは利用者共々顔馴染みで、日常的に交流し、野菜や花等を頂くこともある。また、災害対策訓練時には、積極的な広報や参加への協力も得られている。日々の暮らしでは、利用者が笑顔になって頂くことをモットーに、一人ひとりの培われた特技や楽しみ事等を活かした支援に取り組んでいる。利用者の楽しみでもある入浴支援は、利用者の希望に合わせて連日の入浴や夜間も対応しており、季節によってはバラの花や柚子風呂を楽しんでもらうこともある。

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼申し送り後、理念を全職員で唱和している。	地域密着型サービスの役割を踏まえた理念を作成し、玄関や居間に明示している。毎朝の申し送り時に唱和をし、また、会議の時にも話し合う等して共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣から果物を頂いたり、芝生の手入れなどにボランティアに来てもらっています。	地域住民の事業所への理解が深まり、多方面での協力が得られている。利用者も近隣の方と顔馴染みで、散歩の時等には挨拶を交し、野菜や花等を頂くこともある。広い敷地の芝刈りもボランティアの方にして頂いている。事業所の行事には、近隣の方を招き利用者共々交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学や相談があれば、利用者の状況やケアの内容等の説明をしホーム内の見学や案内を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回実施して記録もファイルしている。参加者からの意見を聞き、サービスの向上に向けて改善を心掛けている。	運営推進会議は、併設の小規模多機能型事業所と合同で、2ヶ月に1回、家族代表や地区代表、行政職員の参加を得て行われており、事業所の運営状況や行事等の報告、情報交換等を行いサービス向上に活かしている。外部評価についても話している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	佐賀中部広域連合、神埼市郡の担当者とは常に連携を保ち、その主催で行われる研修会などへの参加により関わりの機会を作っている。	管理者が行政の窓口を訪問することもあり、担当者とは気兼ねなく、情報交換や質問等ができる協働関係を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルを作成し利用者の状態変化やケア内容の見直しをしながら身体拘束防止に努めている。日中は施錠せず見守りの徹底を行い安全対策を工夫し開放的な環境作りを心掛けている。	職員は、身体拘束に関する勉強会等をとおして、拘束の弊害や禁止の対象となる行為を理解し、拘束のない支援に取り組んでいる。日中は、玄関や玄関に通じるドアは施錠されておらず、利用者の外出気配時には、さり気なく付き添い見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止マニュアルを作成し、日々のケアや利用者への対応の際、虐待がないか確認を行い防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度への理解が薄いことから勉強会を実施し全職員が制度について学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、書面に添って説明し疑問や質問等にも丁寧に対応し、納得された上で契約を頂く様にしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には、いつでも何でも職員に話して頂けるような雰囲気作りに努めている。又、玄関に「意見箱」を置き面会に来られた家族からは希望・意見をお聞きしている。	職員は、家族の面会や電話連絡時や、介護計画に関する会議(担当者会議)の時等に繰り返し声を掛け、意見や要望等を聴くように努めている。出された要望等には速やかに対応し、サービス向上に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議で意見や提案を聞き、その後の全体会議で発表している。	職員は、日常の業務の中や毎月開催するホームの会議、併設施設との合同会議で気兼ねなく意見や提案等をしている。代表者も合同会議に参加して意見や提案等を聞き、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員会議で仕事の問題点を話し合い働きやすい方向に行くように改善出来るよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会主催の研修には必ず参加するように努めている。研修で学んだことをホームで活用している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、他の事業所の方の意見などを取り入れサービスの質の向上をさせている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族や病院・看護師より情報収集を行い利用前に本人と訪問面接し、不安・要望等を尋ね話を伺い安心して頂ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前から利用開始までの間も利用者と家族との関わりを持つ機会を設けて、利用後の不安の解消や要望があれば確実に対応できるよう周知伝達など準備を行いケアプランに取り組むようにする。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・家族の意見、心身の状況、生活環境などを伺い今必要とされている支援を見極め対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の色々な能力を発揮していただき、今までの経験や趣味得意なことも活かし一人一人が活躍出来る機会を設け、職員・利用者ともに支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、状況を報告し誕生会や行事への参加には手紙や電話を行い共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が行きたい所(お寺・お墓・自宅名等)は家族の協力を得ながら、家族や職員と出掛けている。	ドライブの折に馴染みの場所や自宅辺りを訪れている。また、家族の協力を得ながら、馴染みの美容院の利用やお寺参り、知人宅の訪問等も支援している。馴染みの方の面会時には、湯茶を供し交流を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士同じテーブルを使用して頂き、利用者が他の利用者の方の援助をされようとしているときは、見守り必要に応じて支援し、又孤立しないように利用者同士の関係を把握しておく。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了する方は、殆ど長期入院の退所の為、退所後も職員が御見舞いに行き退所後の状況を把握し必要に応じて今後の相談に応じている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は、利用者との会話を大切にし日々のケアの中から利用者の意向を汲み取るように努め、利用者の気持ちに添えるよう努めている。又、意思の疎通が困難な場合には家族との会話や表情から汲み取り検討している。	利用者とゆっくりと過ごす時や入浴介助の時等に、利用者の言葉や表情等から希望や意向等を把握している。意思の疎通が困難な場合には、家族の情報や表情等から本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できるだけ利用開始前に利用者、家族から聞き取りを行いそれを参考にし経験やできることを見極めて対応している。又、家族や知人の面会時には折りに触れて話を聞いてみたりし少しずつ把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日常の過ごし方の観察と把握に努め、いつもと違う行動や様子が見受けられたら毎日の申し送りやミーティングにより報告している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族とお話、主治医よりアドバイスを受け職員会議・ミーティングを通じて意見を聞きながら介護計画を作成している。	本人や家族の希望や意向を確認し、関係者で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。計画は、毎月評価を行い、定期的に見直しを行っている。見直しに係る会議(担当者会議)には、全ての家族の参加が得られている。状態に変化が生じた時には、速やかに見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の記録はケース記録や熱計表に記載し職員がいつも見られる体制作りをしている。また介護計画の見直しにも記録が活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の状況を把握し、カンファレンスを行い家族へも相談・協力をお願いし取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアを施設に招き、ハーモニカ・琴・コーラス・日舞・フラダンス・三味線等の演奏をして頂き楽しい時間を過ごして頂くよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からのかかりつけ医や、利用者の希望される医療機関への受診を行っている。家族の付き添いが困難な場合は看護師が付き添いにて対応している。	以前からのかかりつけ医や本人及び家族の希望される医療機関の受診を支援している。通院は家族の同行を基本としているが、困難な場合には、有料で看護師が同行している。受診の前後に医療機関と事業所で情報交換を行い、安心した受診ができるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて利用者の変化や対応について介護・看護職員の連絡と報告相談を行うて情報の共有化と適切な対応を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院されると、サマリー以外にも担当ナースへ日頃の状態を報告し安心して治療できるよう情報交換し、途中御見舞いに伺い入院経過を聞き早期に退院できる様病院関係者と相談している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度対応マニュアルや看取りに関する指針を基に利用者や家族・主治医と相談しながら方針を決め共有し支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の支援に関する指針を作成し、契約時に説明を行い、同意書を作成している。重度化された時には、家族の意向を随時確認し、その意向に添うように主治医や関係者と連携し、対応し得る限りの支援をしている。これまでに看取り支援の実績はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備え「緊急時マニュアル」を作成し早期発見・対応が出来る様にし職員に対し応急手当や初期対応の訓練を行い実践を見につけている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	「火災発生マニュアル」を作成し、又年2回併設事業合同で防災訓練を実施している。	年に2回、消防署の協力を得、併施設と合同で昼夜の火災を想定した避難訓練等を実施している。訓練には近隣住民の参加協力も得られており、事前に行う。実施予定の広報にも協力してもらっている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉掛け対応に心掛けている。	職員は、利用者の人格を尊重した言葉遣いや対応を心がけ、優しい笑顔で支援にあたっている。気になる対応等が見られた場合には、管理者が注意指導を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ分かりやすい言葉遣いや話易い雰囲気作りを心掛けている。又利用者の思いや希望を自由に表現したり決定できるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は計画的に策定しているが、その日その日の利用者のペースに合わせる様努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の汚れや着衣の乱れ、季節に合った衣類の調節に気を配ったり、身だしなみが保てるよう支援している。又、理容・美容室については近隣の理容・美容室の方に来て頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は嗜好を聞き、代替食の提案を行っている。利用者のその日の体調に合わせ、ご飯・汁物の盛り付けを一緒に行ったり、食後の後片付けもお願いしている。	食事は、併設施設の厨房で作られ、副食は盛り付けられて届いている。職員は、利用者と一緒にご飯や汁物をついだり後片付けを行っている。畑の野菜を収穫した時には、利用者と一緒にホームで調理をしている。食事の時は、職員も一緒に同じものを食べ、声をかけながらさりげなく介助している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や水分量については記録し、栄養状態については管理栄養士と相談し一人一人の状態に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの言葉掛けや磨き残しの介助、口腔ケアの介助を行っている。義歯の洗浄は週4回行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人一人に合わせた排泄の支援を心掛けている。又、排泄チェック表を活用しトイレでの排泄出来るよう支援を行っている。又、利用者の状態に合わせ布パンツ・紙パンツ・紙オムツ・パットの使用を行っている。	排泄パターンや利用者の力に応じて、昼夜ともトイレでの排泄支援に取り組んでいる。また、一人ひとりの機能に合わせて下着や排泄用品を準備している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便状況を把握し個々に合わせた便秘予防にも取り組んでいる。又、日課のラジオ体操やリハビリ体操、水分補給にも心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の体調や希望を配慮しながら入浴を行っている。拒否があった時は日にちを替えたり、気分転換を工夫して支援している。	一日おきの入浴を基本としているが、利用者の希望に応じて、連日の入浴や夜間にも対応し、入浴が楽しみとなるように支援している。季節によっては、バラの花びらや柚子風呂を楽しんでもらうこともある。異性の介助を不安がられる時には、同性のスタッフが対応するように配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調や希望に合わせて睡眠時間や午後からの昼寝等の支援を行い、寝具や室温等の調節により環境を整えるように努めている。又、利用者の体調や状況に合わせて休息して頂けるようにソファークッションを備えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルにより情報を収集し看護師が介護職員への指示を行っている。又、利用者の体調に変化がある時は看護師に報告するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全職員が一人一人を理解しこれまでの生活歴や好み、季節的な物を取り入れ楽しめるよう毎日のレクの検討を行っている。又、利用者の身体状態によっては、洗濯物たたみ季節の壁飾り作り等協力を依頼して役割を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や郊外ドライブを計画し外出の機会を増やしている。又、美容室での髪染めや自宅への帰宅、趣味の買い物等個別の希望による外出を美容室や家族の協力も得ながら支援している。	気候の良い時季には、日常的に散歩やドライブをし、時には買い物にも出かけている。個別の外出は、家族の協力を得ながら支援している。	



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の所持金については、家族の了解のもと一時預かり金として保管し、その出金についてはご家族へ定期報告している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に利用が出来る。又、電話連絡を取りたい利用者には個別に対応している。手紙の支援においては、暑中見舞いハガキや何賀状を利用者と共に作成しご家族へ郵送している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には毎月季節に合った飾りを手作りし、リビングから四季折々の花や野菜を眺めることが出来る。夏場はゴーヤのグリーンカーテンで日差しの調整をしている。	玄関や廊下、居間兼食堂等は、ゆったりとした広さがあり、採光も良く、落ち着いた環境である。居間には畳の間を設け、座椅子や座布団を置く等、馴染みの家庭的雰囲気を作られている。夏には、ゴーヤのカーテンやよしずで日射しを調節している。玄関や廊下等の棚には、季節感のある花も飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーには、ソファーやソファーベットの設置し思い思いに過ごせる場所を提案している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や毛布・タオルケット等、今まで使い続けた品物を出るだけ持参して頂くことで環境が少しでも軽減するよう努めている。	職員は家族に、利用者の馴染みの品の持ち込を依頼している。使い慣れた毛布や布団、カレンダー、写真、時計、日用品等が見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、個別の能力に応じ車椅子・歩行器・シルバーカーの使用することにより安全に移動できるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
項 目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない